

平成24年度「林業まつり」に参加しました

金沢水源林整備事務所では、平成24年10月20日(土)に開催された「平成24年度「林業まつり」(主催:能登森林組合)」に参加しました。

このイベントは、普段林業に関わりの少ない地元の方々にも地域の林業や森林組合との接点を持てるように毎年開催されています。当事務所は、水源林造成事業をより多くの方々に知っていただく機会となるように、昨年に引き続き参加しました。

当日はさわやかな秋晴れに恵まれ、会場には約800名の方々が訪れました。当事務所のブースでは、水源林造成事業に関するパネル展示や、奥能登地域での水源林造成事業地の写真展示のほか、丸太切り体験や小枝を使った鉛筆づくり、樹木の漢字当てクイズを行いながら、来場された方々に森林農地整備センター事業のPRを行いました。

丸太切り体験では、子ども達が自分で切った丸太に絵柄や文字のスタンプで飾り付けを行い、また鉛筆づくりでは大人以上の器用さで小枝を削って鉛筆を完成させたりするなど、普段なかなかできない体験を楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。



器用に鉛筆づくりをする子ども達



樹木の漢字当てクイズに悪戦苦闘

樹木の漢字当てクイズに参加された皆さんは、問題の難易度が上がるにつれて解答に苦労されていましたが、正解を発表すると「なるほど!」と納得顔。クイズを通していろいろな樹木の名前に触れ、親しんでいただけました。

また、ブースにお越しいただいた方々には、当センターの事業パンフレットと水源林の水などを配布して、水源林造成事業の内容とその効果をアピールしました。

地域の方々とのふれあい、親しみのある丁寧な説明を通じ、森林農地整備センターとその事業がより身近に感じてもらえるように心掛けました。

今後もこのような機会を利用した事業PRに取り組んでいきます。